

2017年8月27日 礼拝メッセージ

聖書：使徒の働き 8章 9~24節

説教：聖霊を受けるように

聖霊とは？

私が教会に初めて入ったのは、妻が受洗するという日でした。どんな人たちがここに集まっているのかと緊張しながら礼拝に臨んだことを思い出します。いろいろなことがあって、その二年後に私自身が救われ、受洗の学びを牧師と始めることになりました。自分の罪の問題、イエス・キリストの十字架の死による罪からの救いはわかりました。しかし、いつまでもわからないままだったのが聖霊でした。教会の皆さんは口々に「聖霊、聖霊」と言うのですが、どうもぴんと来ない。おそらく皆さんもそんな思いをされた経験があるのではないのでしょうか。聖霊とは何であるのか。今日はそのことを考えていきます。

## 1 サマリヤへ

### 1) エルサレムでの迫害

ここまでのまでのあらすじを少し振り返ります。

エルサレムに世界で最初のキリストの教会が建てられ、ユダヤ教を信じている人たちの中からも回心者が始めると、だんだんと風当たりが強くなります。あるときとうとう教会の長老であったステパノが逮捕され、殉教する事件が起きました。このことをきっかけにして、エルサレムにあった教会は激しい迫害を受けるようになり、多くのキリスト者が難民となって地方に散らされていきました。そんな彼らが向かった先の一つがサマリヤ地方でした。サマリヤの人たちとは、昔か

ら同じユダヤ人でありながらお互いに口もきかないほど仲が悪い関係であったのですが、迫害から逃れた人たちはそこでイエス・キリストを宣べ伝えます。

### 2) 魔術師シモン

そのサマリヤの町にはシモンという人がいました。彼のことが9、

10節にあります。「ところが、この町にシモンという人がいた。彼は以前からこの町で魔術を行って、サマリヤの人々を驚かし、自分は偉大な者だと話していた。小さな者から大きな者に至るまで、あらゆる人々が彼に関心を抱き、『この人こそ、大能と呼ばれる、神の力だ』と言っていた。」

ここに書かれているのは二千年前のある中東の田舎町の出来事です。昔の人々は無知だったのだ。今は科学の時代だからこんなことはない。皆さんはそう思うかもしれませんが。そんなことはありません。今の時代でもこういうことは起こります。教会にはいろいろな集会の案内が送られてきます。その中には、「私は死んだ人をよみがえらせました」と書いてあるものがありました。もしかして本当なのかも知れません。しかし大切なことは何か。人を引きつける不思議な奇蹟なのか。魔術師シモンがどうなっていったかを見るとよくわかります。

エルサレムからサマリヤに逃れた人たちのなかに、教会の長老をしていたピリポという人がいました。彼がイエス・キリストのことを宣べ伝えた所、多くの人たちが信じ、洗

礼を受けました。驚いたことに、あの魔術師シモンも信じてバプテスマを受けました。いったい何を信じてバプテスマを受けたのか。本当に大丈夫なのか。いろいろ心配になります。案の定、この後で彼は問題を起こしていきます。

### 3) 聖霊を受けた

14 節から 17 節を読みます。「さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のこぼを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けてただけで、聖霊がまだだれにも下って織られなかったからである。ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。」

ピリポが語ったことばを信じて、人々は洗礼を受けました。しかし聖霊は降っていませんでした。そのために、エルサレムからわざわざペテロとヨハネが出かけて行って、聖霊が降るようにと手を置いて祈った。そうしたら聖霊が降った。

ここを読むと不安になるかも知れません。私たちはもあるとき、聖書をとおしてイエスに出会い、罪を告白して、イエスを救い主として信じ、洗礼を受けました。それでクリスチャンになりました。そのとき自分にも聖霊が降ったかどうか。思い出そうとしても記憶にない。おそらくそんな方が沢山おられるのではないのでしょうか。聖霊をいただいた確信がないので、もしかして私は見習いクリスチャンということか。聖霊が降るようにと特別に牧師に祈ってもって、初めて一人前のクリスチャンになるのか？ 結論から申します

と、そんなことはありません。洗礼を受けられた方は、すでに聖霊をいただいています。どうしてそんなことが言えるのか。そのことを、シモンの身に起きたことから解き明かしていきます。

## 2 権威

### 1) シモンの悪事

18, 19 節。「使徒たちが手を置くと御霊が与えられるのを見たシモンは、使徒たちのところに金を持って来て、『私が手を置いたものがだれでも聖霊を受けられるように、この権威を私にも下さい』と言った。」

シモンは、ペテロたちがしているのを見て、自分もあのようなことをやってみたくて、その権威をお金を払って手に入れようとした。でも、おかしいですね。シモンはピリポの説教を聞いてイエスを信じ、バプテスマまで受けたはずではなかったのか。そうであれば、こんな大胆なことを言うのでしょうか。実はこの疑問こそ、この箇所を読んでいくときのヒントとなります。

続けましょう。シモンが言ってきたことに対しペテロは 22 節でこう言います。「この悪事を悔い改めて、主に祈りなさい。あるいは、心に抱いた思いが赦されるかも知れません。」ペテロは、シモンのやろうとしていることは「悪事」であるときえ言って厳しく責めております。お金で買おうとしたというのですからペテロが責める理由はなんとなくわかります。

ではそもそもペテロとシモンは、手を置いて祈ったら聖霊が降る、そのようなことが、どうしてできたのか。彼らだって初めからできたわけではないはずで、それがわかると、どうしてペテロがあれほど激しく叱ったか

がわかります。

## 2) 使徒たちの使命

イエスが天に上げられる直前、使徒たちに語ったことばがヒントです。1章8節。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」ここには、使徒たちの使命は何であったかはつきり書いてある。「あなたがたはわたしの証人となる。」これが使徒たちの使命です。その使命をどうやって果たしていくのか。努力せよ。がんばれ。ベストを尽くせ。ではありません。聖霊という方が臨んでくださって、力を与えてくださる。聖霊がすべてを進めてくださる。これがイエスが語ってくださった約束でした。

その約束のとおり、主が天に上げられてからちょうど一週間経ったとき聖霊が降り、人々は力を受け、エルサレムに教会が建てられていき、救われる人たちが沢山起こされた。まさに聖霊の力が働いていると、その時は思えた。ところが迫害が激しくなり、エルサレムにいられなくなって教会はちりじりばらばらになってしまいます。聖霊はもう働いていない。もうなくなったかに見えた。ところがサマリヤで何が起きたのか。サマリヤの人たちが救われたのです。イエスは語っていました。「エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」そのとおりのことが起きました。使徒たちは、イエスから証人となるのだという使命を果たすために聖霊が与えられています。だから今、ペテロが祈ると聖霊が降ります。シモンは金で買えると思いましたが、

それがいかに考え違いであったかがこれでおわかりになるでしょう。

## 3 聖霊

### 1) 罪を悔い改めさせる

ペテロに責められたシモンは24節でこう言います。「あなたがたが言われた事が何も起こらないように、私のために主に祈ってください。」

シモンはかつて、「自分は偉大な者だ」と誇っていました。それがいまどうなったか。ペテロから「あなたの心が神の前に正しくない」と言われて、実におびえてしまいました。どんなに魔術を使っても、神のさばきから逃れることができないと悟っています。ペテロにすがって、さばきから逃れることができるようにとお願いしている。シモンに何か大きな変化が起きています。厳しくペテロに責められたからか。もちろんそれもきっかけとしてあります。

でも決定的なことが一つある。第一コリント12章3節後半にこうあります。「聖霊によるのでなければ、だれも、『イエスは主です』と言うことはできません。」聖霊が働かなければ、私たちは絶対に自分の罪を告白することができない。罪の告白ができなければ、イエスは主ですと言うこともできない。おわかりでしょうか。シモンはピリポの説教を聞いて洗礼は受けた。しかし心の奥底から変えられていませんでした。罪の自覚が不十分でした。でも、ペテロが祈ったとき、人々に聖霊が降り、魔術師シモンにも降りました。シモン自身は気がつきません。しかし、彼の中に大きな変化が起きます。自分は罪人である。神のさばきから逃れられないほどのひどいことをしてしまったと自覚して、悔い改めて

いった。これこそが聖霊の働きなのです。

感謝します。

## 2) もっとも良いものを与える神

聖霊そのものを見ることはできません。しかし、聖霊が働いてくださった結果を見ることができ。よく聖霊は風のようなものであると言われます。家の中にいると、外で風が吹いているのかどうかはわかりません。でも窓から外が見えます。樹の枝が揺れている、花びらが揺れているのを見ると風が吹いているとわかる。風は目に見えないので存在しないと言う人はだれもいません。聖霊もそれと同じです。

みなさんは不安に思ったかもしれません。洗礼は受けたけれど聖霊をいただいていたのだろうか。でも、私たちは口でなんと断言していますか。「私は罪人です。この罪から救って下さるのは、神のひとり子イエス・キリストです。」もしそのように心から告白するのであれば、あなたはすでに聖霊をいただいているのです。

まだ告白していませんという方もいるかもしれない。そういう方はどうなるか。教会に来て、ここに座っている。聖書のみことばを聴いている。これは実に不思議なことではないですか。皆さんの中に聖霊が働いているから、いまここにいます。

ルカの福音書 11 章 13 節にこうあります。

「してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありましょう。」

このように、私たちに聖霊を与えて下さり、私たちが罪を告白できるようにして下さり、救いに与るように励まして下さる主に